

1. Protocol

RS-232C 準拠/RS-485 (Half Duplex) 準拠

Stop Bit	1/2
Data Bit	8/7
Parity	Even/Odd/None
Data Rate	4,800/9,600/19,200/38,400 bit per second
Code	ASCII
Terminate	CR LF

2. Write command

2-1. Answer

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「EO+CR,LF」	Framing error
「E1+CR,LF」	Parity error
「E2+CR,LF」	Overrun error
「E3+CR,LF」	Command error

2-2. Command

2-2-1. アラーム関連

2-2-1-1. 「ABOFF+CR,LF」 (Alarm Buzzer Off)

アラーム状態の時に、ブザー音設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-2. 「ABOON+CR,LF」 (Alarm Buzzer On)

アラーム状態の時に、ブザー音設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-3. 「ACC+CR,LF」 (Alarm Compulsion Cancel)

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラームを強制解除します。

2-2-1-4. 「ADOF+CR,LF」 (Alarm Display Off)

アラーム状態の時に、「ALARM」という文字表示設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-5. 「ADON+CR,LF」 (Alarm Display On)

アラーム状態の時に、「ALARM」という文字表示設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-6. 「ADTnn+CR,LF」 (Alarm Duration Time nn)

アラームの保持時間を設定します。

nnは、秒数で設定範囲は【01】～【99】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-15. 「ARON+CR,LF」 (Alarm Return On)

アラーム リターンの設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-2. タイトル関連

2-2-2-1. 「CTmm*****+CR,LF」 (Character Title input channel mm)

入力チャンネルmmのタイトルを設定します。

タイトルの文字長さは14文字なので14文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。

各文字はJIS-X0208の16進数をASCIIの4バイトで表します。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

2-2-2-2. 「CTABnn+CR,LF」 (Character Title Adjust Bottom nn)

キャラクタ・タイトルのボトム側表示位置の微調整設定をします。

mmは、値で調整範囲は【01】～【16】です。

2-2-2-3. 「CTATnn+CR,LF」 (Character Title Adjust Top nn)

キャラクタ・タイトルのトップ側表示位置の微調整設定をします。

mmは、値で調整範囲は【01】～【16】です。

2-2-2-4. 「CTImmOF+CR,LF」 (Character Title Input mm Off)

入力チャンネルmmのタイトル表示設定を【OFF】にします。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

2-2-2-5. 「CTImmON+CR,LF」 (Character Title Input mm On)

入力チャンネルmmのタイトル表示設定を【ON】にします。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

2-2-2-6. 「CTIAOF+CR,LF」 (Character Title Input All Off)

全入力チャンネルのタイトル表示設定を【OFF】にします。

2-2-2-7. 「CTIAON+CR,LF」 (Character Title Input All On)

全入力チャンネルのタイトル表示設定を【ON】にします。

2-2-2-8. 「CTIo*****+CR,LF」

(Character Title Input ch. 01~28 (24) Off/On)

全入力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定します。

oは、表示設定でF/Nです。

Fは【OFF】、Nは【ON】です。

入力チャンネル1から28(24)まで連続で表示/非表示を設定します。

2-2-2-9. 「CTOnnOF+CR,LF」 (Character Title Input nn Off)

出力チャンネルnnのタイトル表示設定を【OFF】にします。

nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】（【12】）です。

2-2-2-10. 「CTOnnON+CR,LF」 (Character Title Input nn On)

出力チャンネルnnのタイトル表示設定を【ON】にします。

nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】（【12】）です。

2-2-2-11. 「CTOAOF+CR,LF」 (Character Title Input All Off)

全出力チャンネルのタイトル表示設定を【OFF】にします。

2-2-3-4. 「T S A+CR,LF」 (Time Set Adjust)

時刻の秒の単位を00に設定します。

その時の時刻が30秒未満の場合00秒に合わせます。

その時の時刻が30秒以上の場合00秒に合わせ分の単位を+1します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-5. 「T S H n n+CR,LF」 (Time Set Hour)

時刻の時の単位の設定をします。

n nは設定値で範囲は【00】～【23】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-6. 「T S M n n+CR,LF」 (Time Set Minute)

時刻の分の単位の設定をします。

n nは設定値で範囲は【00】～【59】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-7. 「T S S n n+CR,LF」 (Time Set Second)

時刻の秒の単位の設定をします。

n nは設定値で範囲は【00】～【59】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-4. 日付,時刻の表示関連

2-2-4-1. 「T S D R n+CR,LF」 (Time Signal Display Range n)

時刻表示のレンジ設定をnにします。

1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2は【YMDHM】 年月日時分 です。

3は【YMD】 年月日 です。

4は【MDHMS】 月日時分秒 です。

5は【MDHM】 月日時分 です。

6は【MD】 月日 です。

7は【HMS】 時分秒 です。

8は【HM】 時分 です。

2-2-4-2. 「T S D S N+CR,LF」 (Time Signal Display Size Normal)

時刻表示のサイズ設定を【NORMAL】にします。

2-2-4-3. 「T S D S S+CR,LF」 (Time Signal Display Size Small)

時刻表示のサイズ設定を【SMALL】にします。

2-2-4-4. 「T S I n n O F+CR,LF」 (Time Signal Input ch. nn Off)

入力チャンネルn nの日付け,時刻表示の設定を【OFF】にします。

n nは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】(【24】)です。

2-2-4-5. 「T S I n n O N+CR,LF」 (Time Signal Input ch. nn On)

入力チャンネルn nの日付け,時刻表示の設定を【ON】にします。

n nは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】(【24】)です。

2-2-4-6. 「TS I A OF+CR,LF」 (Time Signal Input All ch. Off)
全入力チャンネルの日付け,時刻表示の設定を【OFF】にします。

2-2-4-7. 「TS I A ON+CR,LF」 (Time Signal Input All ch. On)
全入力チャンネルの日付け,時刻表示の設定を【ON】にします。

2-2-4-8. 「TS I oo+CR,LF」
(Time Signal Input ch. 01~28 (24) Off/On)
全入力チャンネルの日付け,時刻表示/非表示を設定します。
oは,表示設定でF/Nです。
Fは【OFF】で,Nは【ON】です。
入力チャンネル1から28(24)まで連続で設定します。

2-2-4-9. 「TS O n n OF+CR,LF」 (Time Signal Output ch. n n Off)
出力チャンネルn nの日付け,時刻表示の設定を【OFF】にします。
n nは,出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】(【12】)です。

2-2-4-10. 「TS O n n ON+CR,LF」 (Time Signal Output ch. n n On)
出力チャンネルn nの日付け,時刻表示の設定を【ON】にします。
n nは,出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】(【12】)です。

2-2-4-11. 「TS O A OF+CR,LF」 (Time Signal Output All ch. Off)
全出力チャンネルの日付け,時刻表示の設定を【OFF】にします。

2-2-4-12. 「TS O A ON+CR,LF」 (Time Signal Output All ch. On)
全出力チャンネルの日付け,時刻表示の設定を【ON】にします。

2-2-4-13. 「TS O oooooooooooooooooo+CR,LF」 (Time Signal Output ch. 1~8 (12) Off/On)
全出力チャンネルの日付け,時刻表示/非表示を設定します。
oは,表示設定でF/Nです。
Fは【OFF】で,Nは【ON】です。
出力チャンネル1から8(12)まで連続で表示/非表示を設定します。

2-2-5.ファンクション キー関連

2-2-5-1. 「FK 1 M S P n n+CR,LF」 (Function Key 1 Mode Sequence Pattern n n)
ファンクション・キー1のモード設定をシーケンス・パターンn nにします。
n nは,パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-5-2. 「FK 1 O n n+CR,LF」 (Function Key 1 Output ch. n n)
ファンクション・キー1の出力チャンネル設定をn nにします。
n nは,出力チャンネル番号で設定範囲は【01】～【08】(【12】)です。

2-2-5-3. 「FK 2 M S P n n+CR,LF」 (Function Key 2 Mode Sequence Pattern n n)
ファンクション・キー2のモード設定をシーケンス・パターンn nにします。
n nは,パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-5-4. 「FK 2 O n n+CR,LF」 (Function Key 2 Output ch. n n)
ファンクション・キー2の出力チャンネル設定をn nにします。
n nは,出力チャンネル番号で設定範囲は【01】～【08】(【12】)です。

2-2-6.出力設定関連

2-2-6-1. 「O n n I mm+CR,LF」 (Output ch. nn Input ch. mm)

出力チャンネルn nを入力チャンネルmmに設定します。

n nは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】（【12】）です。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

2-2-6-2. 「O n n S mm+CR,LF」 (Output ch. nn Sequence pattern no. mm)

出力チャンネルn nをシーケンス・パターン番号mmに設定します。

n nは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】（【12】）です。

mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-6-3. 「O A I mm+CR,LF」 (Output All ch.Input ch. mm)

全出力チャンネルを入力チャンネルmmに設定します。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

2-2-6-4. 「O A S mm+CR,LF」 (Output All ch.Sequence pattern no. mm)

全出力チャンネルをシーケンス・パターンmmに設定します。

mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-6-5. 「O P n n+CR,LF」 (Output Pattern no. nn)

全出力チャンネルをアウトプット・パターン番号n nに設定します。

n nは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-6-6. 「O P F R+CR,LF」 (Output Pattern FREE)

アウトプット・パターンを【FREE】に設定します。

2-2-6-7. 「O P n n A l mm+CR,LF」 (Output Pattern no. nn All Input no. mm)

アウトプット・パターンのn nの全出力チャンネルを同一の入力チャンネルmmに設定します。

n nは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

2-2-6-8. 「O P n n A S mm+CR,LF」 (Output Pattern no. nn All Sequence pattern no. mm)

アウトプット・パターンのn nの全出力チャンネルを同一のシーケンス・パターン番号mmに設定します。

n nは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-6-9. 「O P n n l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm+CR,LF」

(Output Pattern nn Input lmm)

アウトプット・パターンの全出力チャンネルを入力チャンネルl mmに連続で設定します。

n nは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

l mmは、入力チャンネルで設定範囲は

【I 01】～【I 28】（【I 24】） 入力チャンネル01～28 (24)

【S 01】～【S 64】 シーケンス・パターン番号01～64です。

2-2-6-10. 「O S l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm+CR,LF」

(Output Set 1～8 (12) Input lmm)

全出力チャンネルを入力チャンネルl mmに設定します。

l mmは、入力チャンネルで設定範囲は

【I 01】～【I 28】（【I 24】） 入力チャンネル01～28 (24)

【S 01】～【S 64】 シーケンス・パターン番号01～64です。

2-2-7.パスワード関連

2-2-7-1.「PMOF+CR,LF」 (Password Menu Off)

パスワード・メニューの設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-2.「PMON+CR,LF」 (Password Menu On)

パスワード・メニューの設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-3.「PNnnnnnnn+CR,LF」 (Password Number nnnnnn)

パスワード・ナンバーの設定を【nnnnnn】にします。

範囲は【000000】～【999999】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-4.「POOF+CR,LF」 (Password Operation Off)

パスワード・オペレーションの設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-5.「POON+CR,LF」 (Password Operation On)

パスワード・オペレーションの設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8.自動切換えパターン関連

2-2-8-1.「SPnnAs s+CR,LF」 (Sequence Pattern no. nn,All ch. ss second)

シーケンス・パターン番号nnの全入力チャンネルのシーケンス時間を同じ値に設定します。

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

ssは、秒数で設定範囲は【01】～【99】です。

2-2-8-2.「SPnnLAs s+CR,LF」 (Sequence Pattern no. nn,Live All ch. ss second)

シーケンス・パターン番号nnの0秒設定以外のチャンネルのシーケンス時間を同じ値に設定します。

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

ssは、秒数で設定範囲は【01】～【99】です。

2-2-8-3.「SPnnmms s+CR,LF」 (Sequence Pattern no. nn,input ch. mm,ss second)

シーケンス・パターン番号nnの入力チャンネルmmのシーケンス時間を設定します。

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

ssは、秒数で設定範囲は【00】～【99】です。

【00】秒設定の場合その入力チャンネルをスキップします。

※全てのチャンネルを【00】秒設定にする事は、できません。

2-2-8-4. 「SPnnss+CR,LF」
 (Sequence Pattern no. nn,input ch. 01~28 (24) ,ss second)
 シーケンス・パターン番号nnの全入力チャンネルのシーケンス時間を設定します。
 nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。
 ssは、秒数で設定範囲は【00】～【99】です。
 【00】秒設定の場合その入力チャンネルをスキップします。
 入力チャンネル1から28(24)まで時間を2桁ずつ連続で設定します。
 ※全てのチャンネルを【00】秒設定にする事は、できません。

2-2-9.初期化関連

2-2-9-1. 「DSN+CR,LF」 (Default Set Normal)
 タイトルを除く設定値を初期値に戻します。
 アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-9-2. 「DSS+CR,LF」 (Default Set Special)
 全ての設定値を初期値に戻します。
 アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

3.Read command

3-1.異常時 Answer

- 「E0+CR,LF」 Framing error
- 「E1+CR,LF」 Parity error
- 「E2+CR,LF」 Overrun error
- 「E3+CR,LF」 Command Error

3-2.Command

3-2-1.アラーム関連

3-2-1-1. 「RABO+CR,LF」 (Read Alarm Buzzer Out)
 アラーム時のブザー出力の設定を返します。
 「ABOOF+CR,LF」 【OFF】
 「ABOON+CR,LF」 【ON】

3-2-1-2. 「RAD+CR,LF」 (Read Alarm Display)
 アラーム時の「ALARM」文字表示の設定を返します。
 「ADOF+CR,LF」 【OFF】
 「ADON+CR,LF」 【ON】

3-2-1-3. 「RADT+CR,LF」 (Read Alarm Duration Time)
 アラームの保持時間の設定を返します。
 「ADT01+CR,LF」～「ADT99+CR,LF」 【01】～【99】

3-2-1-4. 「RAELnnn+CR,LF」 (Read Alarm Event List no. nnn)
 アラーム・イベントのリスト内容を返します。
 「AELnnn yy. mm. dd hh:mi:ss+CR,LF」
 nnnは、リスト番号で設定範囲は【001】～【960】です。
 yyは年, mmは月, ddは日, hhは時, miは分, ssは秒を表します。

- 3-2-2-2. 「RCTAB+CR,LF」 (Read Character Title Adjust Bottom)
 タイトル表示微調整のボトム側の設定を返します。
 「CTABnn+CR,LF」
 nnは、設定値で【01】～【16】です。
- 3-2-2-3. 「RCTAT+CR,LF」 (Read Character Title Adjust Top Bottom)
 タイトル表示微調整のトップ側の設定を返します。
 「CTATnn+CR,LF」
 nnは、設定値で【01】～【16】です。
- 3-2-2-4. 「RCTI+CR,LF」 (Read Character Title Input ch. 01～28)
 全入力チャンネルのタイトル表示/非表示設定を返します。
 「CTIoo+CR,LF」
 oは、表示設定でF/Nです。
 Fは【OFF】で、Nは【ON】です。
 入力チャンネル1から28(24)まで連続で設定を返します。
- 3-2-2-5. 「RCTImm+CR,LF」 (Read Character Title Input ch. mm)
 入力チャンネルmmのタイトル表示設定を返します。
 「CTImmOF+CR,LF」 【OFF】
 「CTImmON+CR,LF」 【ON】
 mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】(【24】)です。
- 3-2-2-6. 「RCTO+CR,LF」 (Read Character Title Output ch. 01～08)
 全出力チャンネルのタイトル表示/非表示設定を返します。
 「CTOoooooooo+CR,LF」
 oは、表示設定でF/Nです。
 Fは【OFF】で、Nは【ON】です。
 出力チャンネル1から8(12)まで連続で設定を返します。
- 3-2-2-7. 「RCTOnn+CR,LF」 (Read Character Title Output ch. nn)
 出力チャンネルnnのタイトル表示設定を返します。
 「CTOnnOF+CR,LF」 【OFF】
 「CTOnnON+CR,LF」 【ON】
 nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】(【12】)です。
- 3-2-2-8. 「RCTPI+CR,LF」 (Read Character Title Position Input)
 キャラクタ・タイトルの表示位置の設定を返します。
 「CTPIpppppppppppppppppppppppppppppppppppp+CR,LF」
 pは、設定でB/Tです。
 Bは【BOTTOM】で、Tは【TOP】です。
 入力チャンネルで1～28(24)まで連続で設定を返します。
- 3-2-2-9. 「RCTPImm+CR,LF」 (Read Character Title Position Input ch. mm)
 チャンネルmmのキャラクタ・タイトルの表示位置の設定を返します。
 「CTPImmB+CR,LF」 【BOTTOM】
 「CTPImmT+CR,LF」 【TOP】
 mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】(【24】)です。

3-2-3.日付,時刻

3-2-3-1.「RTD+CR,LF」 (Read Time & Date)

マトリックス・スイッチャ (MSW-2808A/2412A) の日付&時刻を返します。

「yy. mm. dd hh:MM:ss+CR,LF」

yy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒

3-2-4.日付,時刻の表示

3-2-4-1.「RTSDR+CR,LF」 (Read Time Signal Display Range)

時刻表示のレンジ設定を返します。

「TSDRm+CR,LF」

mは、設定値で

1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2は【YMDHM】 年月日時分 です。

3は【YMD】 年月日 です。

4は【MDHMS】 月日時分秒 です。

5は【MDHM】 月日時分 です。

6は【MD】 月日 です。

7は【HMS】 時分秒 です。

8は【HM】 時分 です。

3-2-4-2.「RTSDS+CR,LF」 (Read Time Signal Display Size)

時刻表示のサイズ設定を返します。

「TSDSN+CR,LF」 【NORMAL】

「TSDSS+CR,LF」 【SMALL】

3-2-4-3.「RTSI+CR,LF」 (Read Time Signal Input ch.)

全入力チャンネルの日付け,時刻の表示/非表示設定を返します。

「TSIo+CR,LF」

oは、表示設定でF/Nです。

Fは【OFF】で、Nは【ON】です。

入力チャンネル1から28(24)まで連続で設定を返します。

3-2-4-4.「RTSInn+CR,LF」 (Read Time Signal Input ch. nn)

入力チャンネルnnの日付け,時刻表示の設定を返します。

「TSInnOF+CR,LF」 【OFF】

「TSInnON+CR,LF」 【ON】

nnは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】(【24】)です。

3-2-4-5.「RTSO+CR,LF」 (Read Time Signal Output ch.)

全出力チャンネルの日付け,時刻の表示/非表示設定を返します。

「TSOo+CR,LF」

oは、表示設定で【F/N】です。

Fは【OFF】で、Nは【ON】です。

出力チャンネル1から8(12)まで連続で設定を返します。

3-2-4-6.「RTSONn+CR,LF」 (Read Time Signal Output ch. nn)

出力チャンネルnnの日付け,時刻表示の設定を返します。

「TSOnnOF+CR,LF」 【OFF】

「TSOnnON+CR,LF」 【ON】

nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】(【12】)です。

3-2-5.ファンクション キー関連

3-2-5-1. 「RFK1M+CR,LF」 (Read Function Key 1 Mode)

ファンクション・キー 1 のモード設定を返します。

「FK1MSP01+CR,LF」～「FK1MSP64+CR,LF」 【SP01】～【SP64】

3-2-5-2. 「RFK1O+CR,LF」 (Read Function Key 1 Out)

ファンクション・キー 1 のアウト・チャンネル設定を返します。

「FK1O01+CR,LF」～「FK1O08+CR,LF」 【01】～【08】 (【12】)

3-2-5-3. 「RFK2M+CR,LF」 (Read Function Key 2 Mode)

ファンクション・キー 2 のモード設定を返します。

「FK2MSP01+CR,LF」～「FK1MSP64+CR,LF」 【SP01】～【SP64】

3-2-5-4. 「RFK2O+CR,LF」 (Read Function Key 2 Out)

ファンクション・キー 1 のアウト・チャンネル設定を返します。

「FK2O01+CR,LF」～「FK2O08+CR,LF」 【01】～【08】 (【12】)

3-2-6.出力設定関連

3-2-6-1. 「RONn+CR,LF」 (Read Output ch. nn)

出力チャンネルnnの入力チャンネルを返します。

「OnnImm+CR,LF」 / 「OnnSmm+CR,LF」

nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】 (【12】) です。

Immは、入力チャンネルで【01】～【28】 (【24】) です。

Smmは、シーケンス・パターン番号で【01】～【64】です。

3-2-6-2. 「ROCD+CR,LF」 (Read Output Channel Data)

現在、出力されている入力チャンネルを返します。

オートシーケンスの場合、その時のチャンネルを返します

「OCDmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm+CR,LF」

mmは、入力チャンネルです。

【01】～【28】 (【24】) 入力チャンネル01～28 (24)

出力チャンネル1から8 (12) まで連続で設定を返します。

3-2-6-3. 「ROP+CR,LF」 (Read Output Pattern no.)

現在のアウトプット・パターン番号を返します。

「OPnn+CR,LF」, 「OPFR+CR,LF」

nnは、パターン番号で【00】は「OP」コマンド未使用

【01】～【64】はパターン番号01～64です。

FRは、【FREE】です

3-2-6-4. 「ROPnn+CR,LF」 (Read Output Pattern no. nn)

アウトプット・パターンnnの設定チャンネルを返します。

「OPnnlmmllmmllmmllmmllmmllmmllmm+CR,LF」

lmmは、入力チャンネルで

【101】～【128】 (【124】) 入力チャンネル01～28 (24)

【S01】～【S64】 シーケンス・パターン番号01～64

です。

出力チャンネル1から8 (12) まで連続で設定を返します。

4. ご注意

Command の発行を連続で行う場合 200mseconds.以上の間隔をあけて下さい。
タイトル・キャラクタ設定 (CT Command) の発行を連続で行う場合 500mseconds.以上の間隔をあけて下さい。

JIS X0208 第1水準は 3,562 文字で

0x222f~0x2239,0x2242~0x2249,0x2251~0x225b,0x226b~0x2271,0x227a~0x227d,
0x2321~0x232f,0x233a~0x2340,0x235b~0x2360,0x237b~0x237e,0x2474~0x247e,
0x2577~0x257e,0x2639~0x2640,0x2659~0x267e,0x2742~0x2750,0x2772~0x277e,
0x2841~0x2f7e,0x4f54~0x4f7e

のコードは除きます。

JIS X0208 第2水準は 3,390 文字で 0x7427~0x7e7e のコードは除きます。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。
Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

5. 変更履歴

2011.05.20 「5.変更履歴」追加

2011.07.06 2-2-8-2. 「SPnnLAs s+CR,LF」追加

2017.11.13 ASCII Code 表 ‘-’ 02BH を 02DH に修正

ASCII Code 表 (16進)

SPACE	020H	a	061H	タ	0C0H
		b	062H	チ	0C1H
:	03AH	c	063H	ツ	0C2H
<	03CH	d	064H	テ	0C3H
>	03EH	e	065H	ト	0C4H
—	02DH	f	066H		
.	02EH	g	067H	ナ	0C5H
/	02FH	h	068H	ニ	0C6H
		i	069H	ヌ	0C7H
0	030H	j	06AH	ネ	0C8H
1	031H	k	06BH	ノ	0C9H
2	032H	l	06CH		
3	033H	m	06DH	ハ	0CAH
4	034H	n	06EH	ヒ	0CBH
5	035H	o	06FH	フ	0CCH
6	036H	p	070H	ヘ	0CDH
7	037H	q	071H	ホ	0CEH
8	038H	r	072H		
9	039H	s	073H	マ	0CFH
		t	074H	ミ	0D0H
A	041H	u	075H	ム	0D1H
B	042H	v	076H	メ	0D2H
C	043H	w	077H	モ	0D3H
D	044H	x	078H		
E	045H	y	079H	ヤ	0D4H
F	046H	z	07AH	イ	0A8H
G	047H			ユ	0D5H
H	048H	ア	0B1H	エ	0AAH
I	049H	イ	0B2H	ヨ	0D6H
J	04AH	ウ	0B3H		
K	04BH	エ	0B4H	ラ	0D7H
L	04CH	オ	0B5H	リ	0D8H
M	04DH			ル	0D9H
N	04EH	カ	0B6H	レ	0DAH
O	04FH	キ	0B7H	ロ	0DBH
P	050H	ク	0B8H		
Q	051H	ケ	0B9H	ワ	0DCH
R	052H	コ	0BAH	ン	0DDH
S	053H			ツ	0AFH
T	054H	サ	0BBH	ヤ	0ACH
U	055H	シ	0BCH	ユ	0ADH
V	056H	ス	0BDH	ヨ	0AEH
W	057H	セ	0BEH	ア	0A7H
X	058H	ソ	0BFH	オ	0ABH
Y	059H			ゝ	0DEH
Z	05AH			。	0DFH